

若い力がまちを動かす 「ヤングミーティング」

市長 浅野健司

私はこれまでも、市民の皆さんとの対話を大切にしながら市政運営を進めてきました。自治会や各種団体の皆さんとのミーティングでは、多くの気づきや学びをいただいています。

今年度、新たに「ヤングミーティング」を始めました。対象はおおむね中学生から30代までの若い世代です。人口減少が進む中、持続可能なまちづくりには、将来を担う皆さんの発想が欠かせません。地域課題や子育て、防災などをテーマに意見



交換を行っています。

8月には、「まちの魅力と持続可能なまちづくり」をテーマに、ミーティングを開催。参加した皆さんから、「地域

での担い手を増やすには活動の発信方法を工夫する必要がある」、「子どもが企画したイベントを取り入れてはどうか」、「横のつながりをもっと広げたい」など、前向きな意見が数多く寄せられました。

若い皆さんの話を伺うと「なるほど、そのような考え方もあるのか」と感じる場面が多く、これまでとは違った視点やアイデアに触れることができます。経験から生まれる知恵も大切ですが、固定観念にとらわれない柔軟な発想には、まちの未来をより良くする大きな可能性があると感じています。

皆さんなら、このまちをもっと魅力的にするために、どんなアイデアが浮かびますか。1人1人の思いや気づきが、より良いまちづくりにつながります。いただいた意見をしっかりと受け止め、市政に生かしてまいります。

Pick up ↑

注目の話題、気になる情報をお届けするコーナーです。
今号は、水道の取り組みについてお知らせします。

PFAS 浄水施設整備が、順調に進行中

三井水源地では、今年度中の運用開始を目指し、新たな浄水施設の整備を進めています。現場では、PFAS 処理施設を支える基礎工事や、浄水処理をした水を送るための配管工事を進めています。メインとなるタンクは年内に設置完了し、年明けにはイオン交換樹脂の充填と試運転調整を実施していきます。なお、工事の進捗は、市ウェブサイトで紹介しています。ぜひご覧ください。



要検討項目（PFHxS など）の検査を実施

PFHxSほか7種のPFASは、「要検討項目」に位

水道におけるPFAS規制状況

水質基準項目	PFOS・PFOA (R8.4.1 引上) 【基準値：50ng/L 以下】
水質管理目標設定項目	
要検討項目	PFHxS (R3 追加)、PFBS・PFBA・PFPeA・PFHxA・PFHpA・PFNA・HFPO-DA (R7 追加) 【目標値：なし】

置付けられ、毒性評価が定まらないことや浄水中の存在量が不明などの理由から、水質基準項目などに分類できない項目とされています。

市では、今年度から水質検査項目を増やし、モニタリングを強化しています。水源地ごとの検査結果は、市ウェブサイトをご覧ください。



詳細 ▶ 浄水施設整備＝水質改善対策室 ☎ 058-216-8010 ▶ 水質検査＝水道施設課 ☎ 058-383-7115